

三重県生涯学習センター × 皇學館大学

三重県には、「古事記」「日本書紀」に登場する数々の神話の舞台とされる場所があります。その三重県の学習機関である「三重県生涯学習センター」と、伊勢の神宮における長い神道研究の伝統を源流とする「皇學館大学」が出会い、日本神話の謎を紐解く教養セミナーを開催します。

日時

2015年

10月9日(金)

19:00開講 18:30開場
20:30終了予定

会場

三重テラス

2階・多目的スペース

浮世小路千疋屋ビル「YUITO ANNEX」2F
東京都中央区日本橋室町 2-4-1

講師

橋本 雅之 さん

皇學館大学 現代日本社会学部教授

1957年 大阪市生まれ

皇學館大学大学院修士課程修了 専門 国文学・神話学

主要著書 『古風土記の研究』(和泉書院)

『風土記研究の最前線』(新人物往来社)

『日本人の〈原罪〉』(北山修と共著 講談社現代)

受講
無料

事前申込制・先着順

(座席に余裕がある場合は当日参加可)

※詳しい申込方法については裏面をご覧ください

申込・問合せ先

三重県総合文化センター(公財) 三重県文化振興事業団

三重県生涯学習センター

tel.059-233-1151 / fax.059-233-1155

やむを得ない事情により、内容・日程等が変更になる場合があります

『日本書紀』によれば、垂仁天皇の時代に、鎮座するにふさわしい所を求めて巡行されていた天照大神は、伊勢の国に至り着いた時、「神風の伊勢の国は、常世の浪の重浪が寄せる国だ。東の美しい国だ」と言って、この地に鎮座されたという。今回の講座では、風光明媚な伊勢の風土の中で生まれた神話を紹介することを通して、日本文化の深層的な価値と、その原点について考えてみたいと思う。

来年、日本が議長国となって開催されるサミットの会議場所として、この伊勢志摩が選ばれたことは、先進国の首脳をはじめ多くの関係者に日本の歴史と文化を知ってもらいたい機会となるであろう。

三重テラス

MIE TERRACE

東京・日本橋

うまし国伊勢志摩の 神話と日本文化

NIPPONの原点を学ぶ

三重の魅力発信セミナー

主催



皇學館大学

三重県総合文化センター

三重県生涯学習センター